

# 一房のぶどう



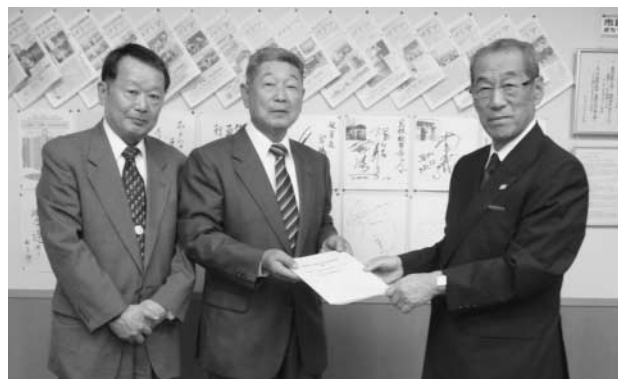
第26号

平成24年9月1日 編集・発行／あきる野市教育委員会  
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

## 「社会教育委員の会議」から

# 地域で生き抜くための生涯学習

～体験を通じて生き抜く力を育み地域力アップへ繋げる～  
〈特に中学生に焦点を当てて〉の提言が提出されました



### ○提言の内容(要旨)

社会教育行政の課題として、「地域で生き抜くための生涯学習」をテーマに、特に中学生に焦点を当て、調査・研究活動を実施してまいりました。

小学生時代には子ども会等を通じて、組織的に地域活動に参加していたのに、中学生になるとぼったりとその活動が激減している傾向が、全国的にも、また、あきる野市全体においても見られます。

「中学生の主張大会」でも見られるように、中学生は我々大人が考えている以上にしっかりと考えた方を持っていますし、また、先般の東日本大震災をきっかけに、自分たちも何かをしな

社会教育委員は、社会教育の課題等に関する協議や研究・調査等を行い、教育委員会に助言をすることを目的として、社会教育法の規定に基づき委嘱されています。この提言は4月末で任期が満了となった第8期の社会教育委員からのものです。

教育委員会では、中学生の主張大会、青少年音楽の祭典、あいさつ標語カルタ大会など、小学生や大人を対象とした各種事業を実施していますが、この提言を受け、さらに生き抜く力を育み地域力アップへ繋げるように取り組んでいきます。

生えなければいけないという自覚も芽生えてきているようです。

中学生が地域住民の一員として活躍をすれば、地域にとっても、また、中学生自身にとっても人格形成の面での効果が期待されるのに、そのきっかけを失っているのが現状のようです。

家庭、地域、学校のそれぞれに期待することもありますが、行きつくところは他の問題と同様に、家庭・学校・地域の連携の問題であり、これらを取り持つ働きは行政に期待するところが多く、社会教育行政の課題として提言しました。

○提言閲覧場所：市ホームページ、各図書館

## あきる野市・羽村市共同開催 「大島・子ども体験塾」



8月8日(水)から12日(日)まで、あきる野市と羽村市の共同開催による「大島・子ども体験塾」を実施しました。各市35人の小学生5年生から中学生までの児童・生徒が参加し、東京都大島町で自然や歴史、文化に触れる様々な体験、御神火太鼓を通じた大島の小学生との交流体験をしました。子どもたちは、地域や年齢の異なる新しい仲間を始め戸惑っている様子でしたが、互いに声を掛け合いながら三原山登山、日の出浜でのシュノーケリングと海水浴などを通じ、すっかり打ち解け、皆の表情は笑顔であふれていました。

最後の夜のプログラムは、夏祭り見学と花火大会。たくさんの感動と共に子どもたちのひとまわり成長した姿を花火が照らしていました。

新たな友情とたくさんさんの思い出を胸に、元氣一杯であきる野へ帰って来ました。